

【建造物部門】受賞作品

横山家住宅（横山医院）



江戸中後期の郷宿遺構で、左の主屋は約300年前、右の隠居棟は明治初期に建築された【左下】ろうそくの灯りで建物を照らす



所在地／城北町1丁目

<講評>

旧高槻城下町に位置し、主屋は唯一現存する近世郷宿の遺構である。主屋1階には暗色の出格子が立てられ、2階は大壁造で白く塗込められている。東には明治期に建てられた隠居棟が続く。隠居棟の中央には腕木門が設けられ、柔らかい色合いの塀が敷地を囲い、街並みに変化を与えつつ、調和のとれた景観を構成している。歴史を踏まえて整えられた前面の通りとともに、ここが城下町であったことをリアルに伝えてくれる。

(選考部会委員 橋寺 知子)

※第1回高槻市景観賞（令和元年度）について紹介しているホームページはこちら
<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/kakuka/toshi/toshiduk/gyomuannai/keikankeikakuto/takatsukishikeikansyou/1572596682711.html>